

『震洋基地跡』の計測調査

当時を語る戦争遺跡

太平洋戦争が終結してから80年という時間が過ぎ、人々の記憶だけでは当時を語ることが難しくなってきました。そしてその分、戦争遺跡が持つ役割は大きくなっていると言えます。垂水市にも戦争遺跡がいくつかあり、その中には昔から地域の中で語り継がれていた場所もあります。新城地区のまさかり海岸近くにある、『震洋基地跡』も、そうした戦争遺跡のひとつです。

戦争遺跡を調査すると

鹿兒島県内の沿岸部には、この震洋艇の格納庫や基地が各所に作られ、垂水市の場合、新城地区のシラス台地のがけ下に穴を掘った『壕』^{こう}というかたちで設置されました。

この新城地区の『震洋基地跡』について、昨年、鹿兒島大学と合同調査を行いました。

理由にはっきりとしませんが、その背景には地質・地形的特徴があったのかもしれない。実はこの場所は、一階部分と二階部分とで岩の性質が大きく異なっており、一階部分のシラスは

軍が開発した特攻兵器のことです。ベニヤ製の小型ボートに魚雷を積んだものでした。本土決戦の準備をしていた

新城地区の『震洋基地跡』の最大の特徴は、その大きさです。高さも幅も約5m以上もあり、奥行きは約12mで、九州・全国でも最大級であると言えます。この大きさの理由は、「一階建てと

二階建て構造の足場部分」



▲『震洋基地跡』の入り口

掘削がしやすく、一階部分の荒平石は頑丈で、かつ二つの層が重なるために、その間から湧水が流れ続ける場所だったのです。この海に向かう水の流れが、震洋艇の出撃や整備に適していたのかもしれません。地域の歴史や文化と、その土地の地質的特徴は切り離せません。『震洋基地跡』のある場所は、桜島・錦江湾ジオパークの名勝『白崩え』^{しろたけ}として紹介されています。大きなシラスの足元にある戦争遺跡のことを、知っているだけでいただければと思います。



▲二階建て構造の足場部分

【参考】『垂水市史(下)』(1977)発行/垂水市教育委員会

(市教育委員 高嶺光佑)

しょっかい 食改 キッチン

Healthmate recipe of this month 今月のレシピ

りんごきんとん



【材料】(4人分)

- さつまいも / 200g
- 砂糖 / 大さじ2
- りんご / 1/2 個
- バター / 10g
- レモン汁 / 2、3滴

ワンポイントアドバイス

サツマイモは食物繊維を多く含みます。また切ると出てくる白い液は「ヤラピン」という樹脂で、腸の蠕動運動を促進し、排泄を助け、便秘を防ぎます。

【1人分あたり】

- エネルギー 115kcal
- 食塩相当量 0.1g



① さつまいもは厚めに皮をむき、1cmの輪切りにして水にさらす。(※2~3回水を替える)



② 鍋に①と、①が浸かるくらいの水を入れて柔らかく煮る。



③ ②が煮えたら、ザルに取り上げる。



④ ③を鍋に戻し、温かいうちに潰し、砂糖を加えよく混ぜる。



⑤ りんごは皮つきのまま芯を取り除き、5mm幅のいちょう切りにする。



⑥ フライパンにバターを溶かし、⑤が柔らかくなるまで、弱火で炒める。



⑦ ④に⑥とレモン汁を2、3滴加え、弱火で練りながら水分を飛ばす。



⑧ ⑦を冷まして、ラップで茶巾の形に絞る。



⑨ ⑧からラップをはがせば...



「りんごきんとん」の完成です！

食改完了